

信楽園病院だより

第190号 平成29年1月1日 発行

〒950-2087 住所 新潟市西区新通南3丁目3番11号 TEL 025-260-8200 FAX 025-260-8199

E-mail renkei@shinrakuen.com ホームページアドレス <http://www.shinrakuen.com>



新年のご挨拶



信楽園病院 院長 宮崎 滋

新年明けましておめでとうございます。昨年1年間の出来事を報告いたします。

4月には基幹型臨床研修病院として初めての研修医1名を迎えることができました。協力型としても新潟大学医歯学総合病院から1名、新潟医療センターから2名の研修医を預かることになりました。これをきっかけに研修医室を7階の景色の良い部屋に整備しました。

5月には新築移転10年目を迎えましたが、あっという間の10年でした。移転と同時に導入した電子カルテの習熟、DPCへの移行、地域包括ケア病棟の新設、電子カルテの入替、医療安全・感染対策に関わる体制の整備など慌ただしく経過しました。また、昨年秋には基本理念・基本方針、患者さんの権利・責務について再整理しました。今後の病院運営については今まで通り、基本方針に基づいて行っていくことに変わりはありません。

地域の方々にご協力頂いておりますロビーコンサートも多彩なグループから出演頂き、10月には毎年恒例となった病院祭も第9回を開催できました。このように地域の方々との交流の場が増えていくことは地域貢献の1つとなり、大変喜ばしい限りです。

今年もまた学会の話になりますが、大統領選挙終了後の11月にシカゴで米国腎臓学会が開催されました。シカゴは空港の乗り換えで空港内は何度も行っていますが、街中に出たことはなく、また同僚の腎臓内科医の演題が採択されたこともあり私も参加することになりました。

午前中はポスター会場で、午後は講演会で情報を収集し、その合間を縫って1日目は人類の歴史を勉強するために、アメリカ3大美術館の一つであるシカゴ美術館を訪れ印象派の絵画を中心に楽しんできました。2日目は地球の



歴史を知る目的でフィールド自然史博物館に入館しティラノサウルス・レックス全骨格化石標本(これは現在発掘されている化石の中で、最大かつ最も完全に近い形だそうです、愛称 Sue)、鉋物などを見て回りました。中でも目を引いたのは中国のヒスイ技術で、人間業とは思えないよう精緻なヒスイ細工がたくさん並んでいました。3日目は建築の歴史の勉強にシカゴの西、オークパークまで足を伸ばしフランク・ロイド・ライト(旧帝国ホテルの設計者)の設計した家屋群を見て回りました。形そのものが日本家屋に似ているだけでなく、屋根も木の板で葺いてあり、日本にかなり影響されていることがわかりました。

今後も地域の皆様に信頼される病院造りに励んでいこうと考えております。

今年1年間、何卒よろしく願いいたします。

